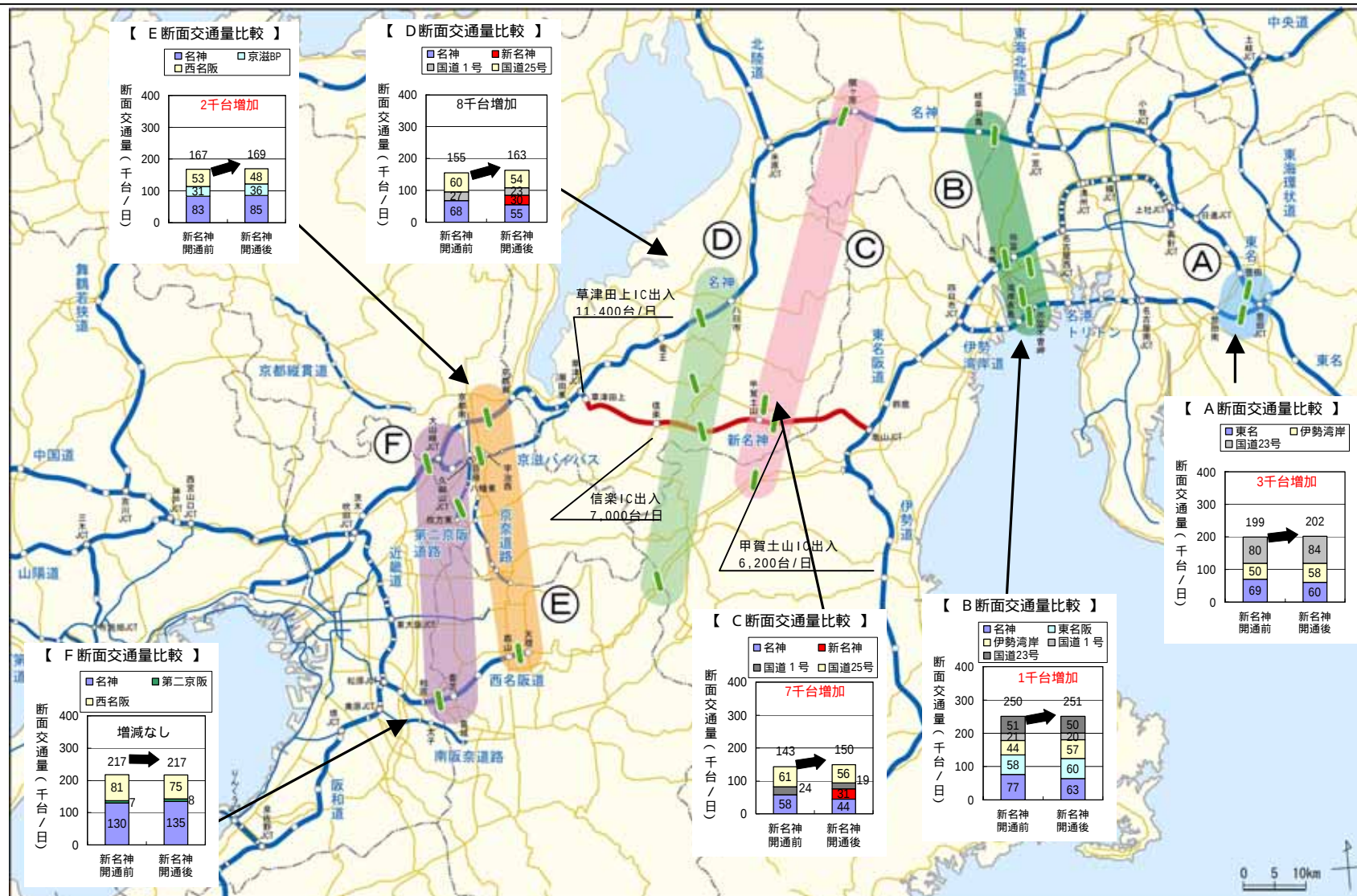


2. 中部圏～近畿圏の交通量の変化

- ・新名神高速道路開通後の中部圏から近畿圏の主な高速道路及び一般道路の断面交通量を国道25号(名阪国道)集中工事期間及び名神集中工事期間を除いた前年度の同時期と比較したところ、C断面で約7千台/日増加、D断面で約8千台/日増加しました。また、A断面は3千台/日増加、B断面は1千台/日増加、E断面では約2千台/日増加しました。
- ・C・D断面における高速道路の交通量比率は、それぞれ41%から50%、44%から52%に上昇しています。



交通量計測装置によるデータを速報値として記載。(四捨五入の関係で合計が合わない場合がある)

新名神開通前: 平成19年3月3日(土)から5月13日(日)までの日平均交通量を記載。

新名神開通後: 平成20年3月1日(土)から5月11日(日)までの日平均交通量を記載。

平成20年2月24日(日)から平成20年2月29日(金)までは国道25号(名阪国道)集中工事期間であるため、データから除外している。

平成20年5月12日(日)から平成20年5月24日(土)までは名神集中工事期間であるため、データから除外している。

D断面の国道1号の交通量は、新名神開通前: 平成19年11月6日(火)、新名神開通後: 平成20年5月28日(水)の実測データを記載。